

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、  ☆印の箇所を記入してください。

#### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	3 学生
中項目	
小項目	3.0.1 求める学生像
要素	<p>入学者選抜において求める学生像の学生を実際に入学させているか。</p> <p>入学志願者層に入学者選抜を受ける公正な機会を提供しているか。</p> <p>「教育研究上の目的」の達成を担う学生像を継続的に検証しているか。</p>
小項目	3.0.2 アドミッション・ポリシーと入学者選抜
要素	<p>アドミッション・ポリシーは、「教育研究上の目的」を達成する内容のものとなっているか。</p> <p>アドミッション・ポリシーとアドミッション・ポリシーに従った入学出願資格条件を募集要項等の印刷物に明確に記載し、入学出願者に周知公表しているか。</p> <p>入学者選抜において、出願者の適性及び能力等を客観的かつ厳格に評価する選抜をしているか。</p> <p>入学者選抜において、実入学者数が入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組を行うなど入学定員と実入学者数との関係の適正化を図っているか。</p> <p>入学者選抜において、経済のグローバル化に対応して多様な知識または経験を有する入学生の多様化に努めているか。</p>
小項目	3.0.3 学生支援
要素	<p>経済的支援を求める学生に対して、必要な措置を講じているか。</p> <p>学生の進路指導及びキャリア形成支援を求める学生に対して、必要な情報収集、情報管理、情報提供及び学生相談等の支援を行う事務組織体制を整備しているか。</p> <p>学生生活の支援を求める学生に対して、学業及び学生生活に関する相談・助言等を行う支援体制を整備しているか。</p> <p>特別な支援を求める留学生及び障害のある学生に対して、学習支援及び生活支援等を適切に行っているか。</p>
小項目	3.0.4 学生の学業奨励
要素	<p>学業成績優秀な学生に対して報奨する制度を整備しているか。</p> <p>学業継続の困難な学生に対して経済的支援や学習支援等の相談を行う体制を整備しているか。</p> <p>学生の学業奨励のために、入学時や新学期授業開始前に、また、教育課程の変更時にオリエンテーションを実施しているか。</p>

#### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

##### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. Increase the number of applicants for Corporate Strategic Management Course. 企業経営戦略コースの志願者数を増加させること	→Improve the quality and quantity of PR activities and improve the scholarship system. 広報活動の質・量の拡充；奨学金制度の充実	C	C	C	B	B
2. Increase the quality of accepted students. (学生の質の向上。)	→Scores for entrance examination, averaged over accepted students. (入学者の入學試験の平均点の上昇)	B	B	B	B	B
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 入学志願者に直結する科目等履修生制度のアピール(リクルートの雑誌への記事掲載)、経営戦略講座を通じたビジネススクールに興味のある層への広報、特に受験への心理的ハードルを下げる取り組みを行った。また、ハッピーキャリアプログラムを通じた女性の社会復帰を促す取り組みも行った。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 科目等履修生は2010年度から2013年度で倍増(22→48)した。また、経営戦略講座の受講者数平均は2010年度から2013年度で増加(17→19.2)した。少しずつ認知度が上がっていると読み取れる。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 認知度向上のため、説明会を増やすほか、ターゲット層への効果的な広報を検討・実施する。 また、2014年度からスタートした「自治体・医療・大学経営プログラム」については、近隣の自治体、病院、大学等への訪問等広報を実施する。	☆
		その他 特に企業経営戦略コースでは、女性入学者が少ないため、今後マネジメントに携わることを希望する女性への働きかけも検討する必要がある。	☆
目標2	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 授業見学の実施やプロモーションビデオの作成など、広報活動の改善が図られている。また一部の奨学金制度で、入学前に奨学生採用決定を通知するようにした。 他にもハイブリッド科目や他研究科との合併科目を新設するなど、コース・専攻・研究科を跨いだカリキュラムを検討している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 筆記試験型入試の合格者平均点において、企業経営戦略コースは2010年春入試68.8点、2014春入試76.9点と上昇した。国際経営コースは2010年春入試76.5点、2014春入試75.7点と上昇しなかった。学生の質の向上のためには、より一層志願者を獲得し、入試の志願者倍率を増加させる必要がある。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 国際経営コースに所属している英語話者に日本語教育科目の履修を促すこと、また企業経営戦略コースの学生に対してハイブリッド科目や理工学研究科との文理融合科目の履修を促すなど、語学力を含めた異文化理解を促進する。これらは入学時のオリエンテーションに説明をし、履修計画に取り入れるよう働きかける。	☆
		その他	☆
備考			☆

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【経営戦略研究科】		課程	単位	2010	2011	2012	2013	2014	備考
指標1	入学定員	専門職学位課程	名	200	200	200	200	200	
指標2	志願者総数	専門職学位課程	人	241	216	166	128	123	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
指標3	合格者数	専門職学位課程	名	208	199	146	118	114	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
指標4	入学者数	専門職学位課程	名	183	169	129	94	99	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
指標5	志願者倍率	専門職学位課程	倍	1.2	1.1	0.8	0.6	0.6	志願者÷入学定員
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	専門職学位課程	倍	0.93	0.91	0.84	0.75	0.55	
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	専門職学位課程	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	一般入試入学者数÷入学者数
指標8	収容定員	専門職学位課程	名	400	400	400	400	400	
指標9	在籍学生数	専門職学位課程	名	370	355	296	244	239	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	専門職学位課程	%	92.5%	88.8%	74.0%	61.0%	59.8%	